

令和7年度 江戸川区立大杉第二小学校 総合的な学習の時間 全体計画

校長名 笠井 三恵子

名称: 総合的な学習の時間

学校の教育目標	東京都教育委員会と江戸川区教育委員会の教育目標を受け、人権尊重の精神を基調として、心身ともにすこやかで、ふるさと「えどがわ」を愛し、その発展に寄与するとともに、国際感覚をそなえた児童を育成する。「こころ豊かに たくましく 教育の江戸川」の実現に向け、学習環境の整備・充実を図るとともに、家庭・学校・地域と連携し、児童の「生きる力」を培う教育を推進する。 ◎ よく考え進んで学ぶ子(重点目標) ○ 思いやりのある子 ○ 明るく元気な子
---------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標
1 自ら課題を見付け、主体的に学び考え判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付ける。 2 学び方や考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的・協働的に取り組み自己の生き方を考えることができる。

育てようとする資質や能力及び態度	
知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
・ 地域や家庭での暮らしに興味をもち、課題を見付け、最後まで追求する。 ・ 色々な表現方法の中から自分にあった表現を選び、分かりやすく表現する。	・ 広い視野に立って事象に関心をもち、課題を見付け見直しながら、追求する。 ・ 目的に応じた情報手段を選択し、相手を意識して表現する。
思考力・判断力・表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
・ 友達や地域の良さを見付け、関わろうとする。 ・ 話し手の思いを考えながら聞く。	・ 目的にあった人たちと積極的に関わろうとする。 ・ 課題に照らし合わせ要点を押さえながら、話を聞く。
学びに向かう力・人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
・ 学んだことを、地域や家庭での暮らしに生かそうとする。	・ 学んだことを、社会や自分の生き方に生かそうとする。

内 容	学習対象	学習事項
第3学年	1 生き物博士になろう 2 江戸川区のじまんをしよう 3 知ろう 昔のくらし	・ 身近な動植物に接し、関心をもつ。 ・ 大杉の町を探索し、地域のよさや人と関わることに気付く。 ・ 昔のくらしを知り、伝統文化を受け継ぎ自己の生活に生かす。
第4学年	1 ヤゴ救出大作戦 2 とともに学ぼう 3 地域安全見守り隊(地域安全マップ作り)	・ 自然の素晴らしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることに気付く。 ・ 調べたテーマについて、相手が分かりやすくなるように思いや考えを伝え合う。 ・ 地域安全マップを作成し、自己防衛力を高める。
第5学年	1 調べる学習コンクールに挑戦! 2 外国の学校はどんな感じ? 3 ウィンタースクールを楽しもう!	・ 興味を持ったテーマについて調査し、その結果を文章や絵、写真などで表現する。 ・ 諸外国の文化、生活などを調べる計画を立て、主体的に追究し、伝え合う。 ・ 新潟県の文化、生活などを調べる計画を立て、現地で学んだことを伝え合う。
第6学年	1 学校のリーダーになろう 2 日光について調べよう 3 卒業プロジェクト	・ なかよし班活動について計画を立て、運営する。 ・ 栃木県日光市の文化、生活などを調べる計画を立て、現地で学んだことを伝え合う。 ・ 卒業に向けての活動を通して、自分の生き方や行動を見つめる。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・ 3年生は地域、4年生はプレゼン能力育成、5年生は環境・日本文化、6年生は福祉・国際理解を主なテーマとする。 ・ 単元は学年で開発し、年間3～4単元程度とする。	・ 児童の課題意識を連続発展させる支援 ・ 個に応じた指導の工夫 ・ 体験活動の重視 ・ 協働的な学習活動の充実 ・ 教科との関連的な指導の重視	・ 情報管理を拠点とした情報の集積と活用 ・ 学校応援団の効果的運用 ・ 担任外の教職員による支援体制の樹立	・ ポートフォリオを活用した評価の充実 ・ 観点別学習状況を把握するための評価規準の設定 ・ 個人内評価の重視 ・ 指導と評価の一体化の充実